

互いに認め合い 学び続ける 心豊かな生徒の育成

本校は、都市化に伴う生徒数の増加により、昭和59年に御南中学校から分かれて開校し、今年で39年目を迎える全校生徒418名の中規模の中学校です。校内にある泰山木は6月に常緑の葉の中に白い大きな花を咲かせます。物事の真理を見通す若人の象徴として開校時に校木に選定されました。正門には、「誠実・忍耐・創造」の校訓碑が設置されています。互いに尊敬し合い、学び合う中で新しいことや難しいことにも挑戦し、夢や目標に向かって粘り強く努力する生徒に育ててほしいという、地域や保護者の願いが込められています。今年度も、この教育理念を実現すべく全職員一丸となって取り組んでいきます。

平成24年から道徳教育の充実に全職員で取り組み、授業づくりの研修を重ねながら、今日まで道徳の授業を実施してきました。その結果、自分の思いを表現できる生徒が増え、教室に支持的な風土が生まれつつあります。

また、数学の習熟度別少人数（個別指導）を実施することにより、基礎学力が定着していない生徒の学習意欲の高まりが見られるようになりました。

平成27年度からは協同学習を取り入れ、「すべての子どもの学びと育ちを保障する」を基本理念とし、「聴き合い、伝え合い、学び合う授業の創造」を目指して取り組んでいます。

令和3年度、岡山市で GIGA スクール構想がスタートし、1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境の実現を目指しています。

さらに、『あいさつを しよう かえそう 広めよう』という中学校区スローガンのもと、保護者や地域の方々との協力により、あいさつ運動の実施、中学生ボランティアが活躍できる場を地域の方々から提供していただく等、地域とのつながりがより一層強固なものになっています。また、中学校区5校園連携の PTA 活動として年3回「メディアコントロール週間（習慣）」を実施しています。このような様々な取組を推進し、家庭や地域のお力添えを引き継ぎ得ながら、学区の幼稚園・小学校とも連携し、共通の目標と学びでつながる生徒集団の構築に努めています。



令和4年4月

岡山市立芳田中学校
校長 本郷 昭治